

令和7年度 高松市立桜町中学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

校訓「向学・自主」を追求し、豊かな人間性とたくましい心身を持ち、夢の実現のために努力する生徒の育成

～めざす生徒像～

- 自己の目標を持ち、その実現に向け粘り強く取り組める生徒
- 自他を大切にし、共に認め合い支え合う心豊かな生徒
- 正しく判断し、主体的に行動できる生徒
- 心身共に健康で、たくましい精神と身体を持った生徒

【本校の課題】

昨年度の新体力テストの結果より（現2、3年生）

2年生男子は、立ち幅とびが全国平均を、握力は県平均を超えており、その他の種目ではすべて県平均を下回っている。2年生女子は上体起こし、長座体前屈、反復横とびは、県平均より少し高い。50m走、ハンドボール投げは県平均より低い結果であった。

3年生男子は、すべての種目が県平均よりも低い。3年生女子は、立ち幅とびが全国平均よりも高いが、その他の種目はすべて県平均を下回っている。

【現状】

学力に対して意識の高い保護者と生徒が多く、塾通いの生徒が多い傾向にある。ゲームやスマートフォン、タブレット等のインターネット機器を使う時間が多く、幼い頃から身体を動かして遊ぶ習慣が乏しい。体育の授業では、教師が生徒の運動能力や経験に応じて技能の習得を行っている。運動時だけではなく、日常生活においても接触や転倒などがをする生徒も多い。また、運動経験の豊富な生徒と運動機会に乏しい生徒の二極化が進んでいる。

【保健体育の授業での取組】

- ・準備運動の中で不足している体力（瞬発力・巧ち性・筋力・筋持久力・敏しょう性）についての補強運動を取り入れる。また、音楽に合わせて走る「リラックスラン」を実施する。
- ・球技においては投能力向上のために、投げるポイントを明確にし、ベースボール型の授業以外でも投動作を行う授業を行っていくことが必要である。
- ・運動の楽しさや喜びを体験できるルール設定やゲームを行う上で必要な技能の習得に取り組む。
- ・保健学習においては、生涯にわたり、運動やスポーツが、健康な生活を送る上で必要であることを、その意義や効果を含め理解させる。

【運動部活動や学習指導、家庭との連携と昼休みの工夫】

- ・生活リズムチェックやスマートメディア、マイランチの日を行い、健康な生活を送るための習慣を意識づける。
- ・メディアをうまく活用し、メディアについて考える機会を設定することで生活習慣を見直し、運動や外遊びの時間を設けることができるようとする。
- ・昼休みにレクリエーションボールの貸し出しを行い、運動場での運動機会を設ける。

【目標】

- ① 新体力テストの数値における目標
 - ・個々へのアプローチと、全ての学年において体力テストの平均値を県平均以上にする。
- ② 運動に対する意識・運動習慣における目標
 - ・1週間の総運動時間を増やし、体育の授業が好きと答える生徒の割合を増やす。